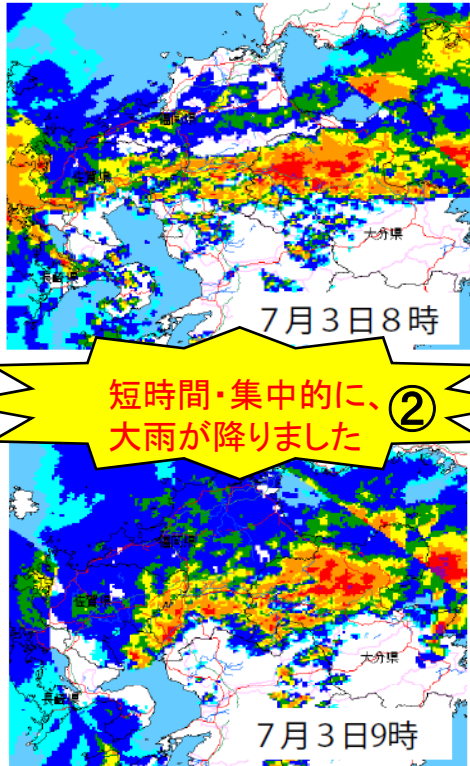


平成24年7月3日の
雨量レーダー図

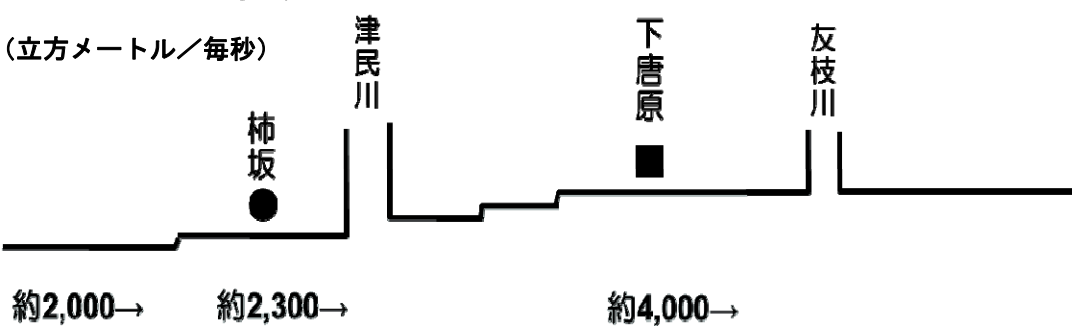


平成24年7月3日の山国川的主要地点の河川流量(水量)図

単位: m³/s (立方メートル/毎秒)

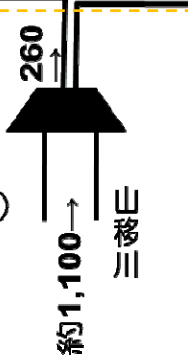
②

山国川本川
上流の洪水
量が多い



周防灘

① 耶馬溪ダム
(洪水調節により
河川流量を低減)



② 観測史上最高の
水位を記録(下唐原)

下唐原観測所は中津市街の
高瀬地区付近です

※川幅は、河川流量をイメージしています。
※河川流量は、最大時の流量を表しています。

大雨情報に注意しましょう。

耶馬溪ダムは、ダムに入ってくる水の量より、出す水の量を少なく(調節)して支川である山移川からの水量を減らすことで、合流した後の山国川本川の水面上昇をおさえる役割を果たしています。

(右上の図は、平成24年7月3日に川に流れた水量をあらわしており、上記の文は①の内容を示しています。)

しかし、平成24年7月の九州北部豪雨のように、山国川本川上流にも大雨が降った場合、耶馬溪ダムで調節した山移川からの水量よりも、山国川本川の水量が圧倒的に多いため、川の水位が高くなります。

(左上の図は、平成24年7月3日の雨量レーダーであり、上記の文は②の内容を示しています。)